イノシシの生態・特徴と対策

これってイノシシ?

! 危険信号!







生態について

- ・**昼夜問わず**、活動する。(警戒しなくなったら、昼でも人前に出てくる。)
- ・**雑食性**で何でも食べるが、特にイモや根茎、タケノコなどの植物食を好む。
- ・基本的に年**1回、春に数頭**を出産する。

<u>(春の出産で失敗した個体や、子を失った個体は、秋に再度出産する。)</u>

- ・メスは群れをつくり、オスは単独生活をするが、交尾期にメスの群れに入る。
- ・視力は 0. 1以下と言われているが、 <u>100 m先から人間をみわけるには十分</u>である。

特徴について

- ・『猪突猛進』はパニックになって逆上したときに姿で、**本来は臆病で注意深い**。 しかし、<u>いったん慣れると大胆不敵</u>になる。
- ・助走なしで1m、<u>よじ登ることができれば2mの高さを乗り越える</u>。
- · 20cmの隙間をくぐり抜ける柔軟さもある。
- ・学習能力が高く、覚えが早い。
- ・毛は剛毛で電気を通しにくい反面、鼻は敏感で初めて見るものを確かめるのに使われる。

被害対策について

柵を張る前に!

捕獲をする前に!

イノシシが来ない・増えない地域にしましょう。

詳しくは、裏面を御確認ください。

お問い合わせ 宮崎県鳥獣被害対策支援センター ☎0985 (44) 1816

イノシシ対策 環境チェック

チェック **捨てない!**



収穫しない野菜や果実は <u>すき込む</u>か、囲いの中に捨て ること。一度おいしいエサを 覚えたイノシシは、しつこい。

チェック 残さない!



イノシシは落ちた果実にも 寄ってきます。残さず収穫し ましょう。

収穫しない果樹は切ることも。

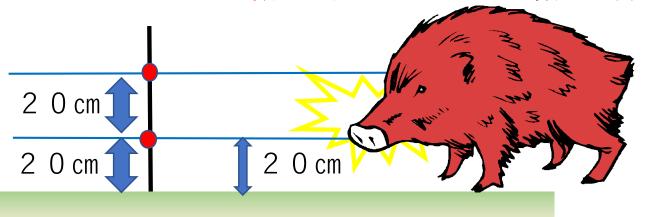


農地周辺の潜み場所をなくしましょう。こちらからは見えなくても、動物側からは見えています。

防護柵設置について

【電気柵】 通電線は2段(20cm、40cm)

イノシシやシカで感電するのは鼻先や口先だけ!※イノシシの鼻先は地面から20cm



【物理柵】 侵入はほとんど潜り込み

隙間を作らず、ワイヤーメッシュ柵の下部はしっかり固定する。

→鼻が入れば、簡単に持ち上げる。







防護柵の詳細については、『鳥獣被害対策の手引き』を御覧ください。